

# 三心を磨く

学校だより NO. 1  
平成31年 4月 4日(木) 発行  
須坂市立東中学校  
文責：金井 勝久 教頭  
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

平成31年度 須坂市立東中学校 入学式・始業式

## 「式 辞」

学校長 島田 浩幸

日の光にまぶしさが増し、冷たさの中にも温もりを感じさせる風に誘われるように、万物が躍動する春が今年も巡ってきました。このよき日に、須坂市長様はじめ、日頃からそれぞれのお立場で東中学校を温かく見守り、お支えいただいているご来賓の皆様方、保護者の皆様方にご臨席を賜り、このように入学式が盛大に挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

五十三名の新生の皆さん、東中学校へのご入学おめでとうございます。皆さんの入学を、二・三年生、教職員一同心待ちにしていました。

多くの方が見守る中、新しい生活・新たな出会いへの希望や期待と不安を胸に入場してくる皆さんは、たいへん凛々しい姿でした。皆さんの希望や期待が一層大きなものになるように、そして安心して楽しい中学校生活が送れるように、先生方も上級生も精一杯応援していきたいと思えます。

さて、「心のスイッチ」という詩を紹介します。

「人間の目は、ふしぎな目、見ようという心がなかったら、見ても何も見えない。

人間の耳は、ふしぎな耳、聞こうという心がなかったら、聞いていても何も聞こえない。

同じように先生の話も聞いていても、ちっとも聞こえてこない人がいる。

本当にそうだと、腹の底まで聞く人もいる。

「よしやるぞ！」と心のスイッチが入ると、頭も体もすばらしいはたらきを始める。

今まで、みんなから目立たない子だと思われていた子でも、心にスイッチが入ると、急に素晴らしい子になる。

心のスイッチは、人間をつまらなくも、素晴らしくもしていくんだ。

電灯のスイッチが、家の中を明るくも、暗くもするように。」

皆さんがこれから過ごす三年間は、心身ともに大きく成長し、大人になる準備をする、人生の中で最も大事な時期ですが、あっという間に過ぎてしまいます。

そこで、この貴重な三年間を有意義なものとするために、本校の学校目標「三心自立」に重ね、三つの心のスイッチについて話します。

一つ目は、「学ぶ心」のスイッチです。言うまでもなく中学生にとって一番大事なことは学習です。では、なぜ学ぶのか。それは、自分という人間を高め、自立できる大人になるためです。皆さんが生きて二十世紀は、「知識基盤社会」と呼ばれ、新しい知識や情報、技術によって社会が大きく変化していくのです。そしてその変化はすでに始まっています。大きく変化し続ける社会の中で求められるのは、変化に対応する能力であり、正解が一つではない課題を解決していく力です。そのためには、生涯に渡って学び続けることが必要になります。皆さんはそのための基礎を身につけるために「学ぶ心」のスイッチを入れなくてはならないのです。

二つ目は、「思いやる心」のスイッチです。新生の皆さんはもちろん、東中学校の生徒には、一人として同じ人はいません。足の速い人もいれば、遅い人もいます。背の高い人もいれば、低い

人もいます。テストで高い得点をとる人、美術や技術などで素晴らしい作品を仕上げたり、運動で活躍したりする人もいます。みんなを引っ張るのが得意な人、協力するのが好きな人もいます。現在、自分自身が体調を崩している人もいれば、いろんなことで悩んでいる人もいます。みんな違っているのです。違っているからこそ、互いを尊重し合い、関わり合って成長することができるのです。思いやりは人の心を温かくし、生きる勇気を引き出してくれます。一人一人の「思いやる心」のスイッチが入っていれば、いじめや周りに迷惑をかける行為はなくなるものと私は信じています。皆さんは将来、今よりもずっと多くの多様な考えを持った人たちと共に生きていくこととなります。よりよい人間関係作りの基礎を身につけるために「思いやる心」のスイッチをいつもONにしてください。

三つ目は、「鍛える心」のスイッチです。目標や志を持って何かを成し遂げようとするとき、失敗してもくじけずに挑戦し続け、乗り越えるたくましい心と体が大切になります。そのためには、自分を鍛えることが必要で、中学校生活のあらゆる場面が自分を鍛える場になります。中学生の時期に鍛えた心と体は、将来を支える土台となります。

「学ぶ心・思いやる心・鍛える心」この三つの心のスイッチを入れ、日々自立に向かって成長していく皆さんの姿を期待しています。

新入生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校三年間は心身の成長がめざましい反面、不安定になりやすい時期でもあります。しかし、どの生徒も素晴らしい可能性を持ったかけがえのない存在であり、地域の宝です。生徒のよさや可能性を最大限に伸ばすのが、保護者や教職員の責務と考えます。そのために、これから三年間、学校と家庭との信頼・連携を一層密にして進めることができますようお願い申し上げます。

終わりに、五十三名の新入生にとって、本校での三年間がかけがえのない学びの時となることを願い、式辞と致します。

(詩「心のスイッチ」は、教育者の「東井義雄」さんの作品です)

### ◇◇◇ 本年度転入職員の紹介 ～よろしくお願いします！～ ◇◇◇

平成31年(令和元年)度のスタートにあたり、以下の職員を東中学校に迎えました。

保護者・地域の皆さまには、これまで同様温かいご支援をいただきたいと思っております。

- |                   |     |               |
|-------------------|-----|---------------|
| ○島田 浩幸(しまだ ひろゆき)  | 学校長 | 須坂市立相森中学校から   |
| ○佐藤 雅美(さとう まさみ)   |     | 中野市立高社中学校から   |
| ○笠井佳代子(かさい かよこ)   |     | 小布施町立小布施中学校から |
| ○古平 エミ子(こだいら えみこ) |     | 須坂市立小山小学校     |
| ○小林 晴江(こばやし はるえ)  |     | 高山村立高山中学校     |
| ○櫻井 祐二(さくらい ゆうじ)  |     | 長野市立篠ノ井東中学校から |
| ○坂本 尚子(さかもと しょうこ) |     | 新任            |
| ○沼田 真理(ぬまた まり)    |     | 新任 スクールカウンセラー |

### ◇◇◇ 保護者懇談会・家庭訪問について ◇◇◇

本校では、学校職員と保護者の方との懇談の機会を重ねてもつことで、子どもの成長とともに支えていきたいと考えます。4月(23・25・26日)に1学年・2年2組は家庭訪問、2年1組は保護者懇談会を行います。夏休みには3学年全家庭、1・2学年はご希望のあるご家庭との保護者懇談会、12月に全学年で保護者懇談会を予定しています。

ご多用中とは存じますが、ご理解の上、よろしくお願いいたします。

### **保護者懇談会・家庭訪問について**

本校では、学校職員と保護者の方との懇談の機会を重ねてもつことで、子どもの成長とともに支えていきたいと考えます。4月に1学年の家庭訪問、2学年保護者懇談会（ご希望のあるご家庭）、夏休みに2・3学年と1学年のご希望のあるご家庭との保護者懇談会、12月に全学年の保護者懇談会を予定しています。

ご多用中とは存じますが、ご理解の上、よろしくお願いいたします。